



## 第14回 太子町 たけのうち かい どう 竹内街道～最古の官道のロマン～



近鉄南大阪線上ノ太子駅から国道166号線を東に進むと、細い路地があらわれる。坂を上っていくと、細く曲がりくねった道に溝が流れ、両側には昔ながらの石垣や塀の民家が並ぶ。道標には、「右、たへま つぼさか いせよしの 高野道」とみえる。ここは、『日本書紀』の推古21(613)年に「難波(なにわ)より京(みやこ・飛鳥)に至る大道を置く」と記され、最古の官道といわれる竹内街道である。

竹内街道は、大阪市の四天王寺付近から南下して住吉から金岡(堺市)に入り、東に折れて、丹比(たじひ・堺市美原)、埴生(はにゅう)・古市(羽曳野市)、春日・山田(太子町)から二上山の南の竹内峠を越えて、当麻(葛城市)から榎原に通じる道であった。

竹内街道は、中国や朝鮮からの文化を飛鳥に運んだ道。難波の港に着いた、外国からの使節や技術者たちが京まで行き交い、聖徳太子が派遣した遣隋使も、この道を通って海を渡った。このあたりに渡来系の氏族が多く住んだこととつながる。太子町の由来でもある聖徳太子廟や、遣隋使をつとめた小野妹子(おののいもこ)の墓も、この街道のそばにある。

また、このあたりには、推古天皇陵など数多くの陵墓が造られ、古代に

は、大和の「遠つ飛鳥」に対して、「近つ飛鳥(ちかつあすか)」とも呼ばれた。そして今では、「王陵の谷」とも呼ばれている。この陵墓を造るために莫大な人と資財が集められ、ひとつの葬儀のために、京からこの街道を通った行列は千人を下らないという。

この頃の街道を想像すると、壮大な太古のロマンを感じる。そしてまた、この壮大な国家づくりのために、莫大な人々が賦役などとして使われたのだろう。古代国家の壮大なロマンのはじまりは、国家の力による人々への支配や従属のはじまりでもあったのではないか。それまでの共同体の中で人間関係から、支配する者とされる者という関係への変化を感じずにはいられない。

その後竹内街道は、中世末期に堺が繁栄してからも、堺と大和(奈良)とを結び道としてにぎわいをみせた。街道は、古来から行き交う、さまざまな国や文化とともに、人々のありようもみつめてきたのだろう。

街道沿いには、太子町立竹内街道歴史資料館があり、竹内街道の歴史が展示されている。また、すぐ隣の河南町には大阪府立近つ飛鳥博物館がある。



### 手をつないで

東大阪市 中学二年生(当時) 松田明恵

いま  
私たちの地球のある国で  
おいしそうに  
泥のまざった水を飲んで  
いる子がいる  
その子は「何も食べるものがないの」とい  
いま  
私はがぶがぶと  
オレンジジュースを飲んでいる  
私は「また食べすぎてしまった」という  
さつき  
地雷で足を失った子が  
「あしたからどうすれば生きていけるの」  
と思うとき、  
私は何も考えず歌をうたいながら  
公園を走りまわっていた

きょう  
私は「私は幸せだ」と思えた  
じっくりみんなのことを考えてみたんだ  
黒人だという理由で  
両親を殺された子、ゲリラに腕や足を切り取られた子、  
家も学校もすべて破壊されてしまった子  
家族を養うために売春する子  
病気で苦しみ、笑うこともできない子  
そして恵まれた私  
だけど、みんないっしょなんだ  
だから、みんなで笑いたいんだ  
いま  
となりにいる友だちと  
「いっしょにやっつけていこうよ」  
と話して  
「みんながいっしょに生きていこう」と  
手をつないで

2005年度人権啓発詩・読書感想文募集事業  
(大阪府大阪府教育委員会・愛ネット大阪(財)大阪府人権協会の入選作品より)

### 編集後記

■物事や世の中の流れについて考えるとき、その表層だけではなく、根本を知り、そこから考えていくことの大切さを思った。(M)

■今回のテーマを扱うにあたって、あらためて憲法を読みると、「日本国民は」(第9条)、「国民は」(第11、30条)「すべて国民は」(第13、14条など)と同じ国民を表現するのに3種類の書き方があることに気付いた。それぞれ、何らかの意図があったと思われるが、それを調べてみるのもおもしろいのではないだろうか。(T)

2006(平成18)年9月発行

この情報誌は20,000部作成し、1部あたりの単価は48円です。

発行/大阪府政策企画部人権室

編集/財団法人大阪府人権協会

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目  
TEL.06-6941-0351 FAX.06-6944-6616  
http://www.pref.osaka.jp/jinken/

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12  
TEL.06-6568-2983 FAX.06-6568-2985  
http://www.jinken-osaka.jp



R100  
古紙配合率100%再生紙を使用しています

「そうぞう」とは

人権尊重社会を実現するためには、さまざまな偏見や差別を受けている人の状況・気持ちを「想像」することと、豊かな人権文化を「創造」することが必要です。この情報誌がこれらの「そうぞう」につながるように一そんな思いが込められています。